

OSAKA

かきなん

議会だより

町の未来は  
まかせといて!

議会見学 (中村小学校)

第4回定例会

平成26年度予算審議など ..... P2~6  
これが聞きたいねん 議員の質問 ..... P7  
シリーズ人 鈴木永山さん ..... P16

2015.3 No.126

発行責任者/河南町議会 議長 村元 保男



# 美しい河南町基本条例 美しい河南町環境条例 を制定しました！

平成26年第4回定例会は、12月3日から12月16日までの14日間の会期で開催しました。主な案件は、条例制定及び一部改正、補正予算などの審議を行いました。一般質問では、9人の議員が町政全般について活発な議論を行いました。

## 河南町議会 第4回定例会

政務活動費に関する特別委員会設置について

**問** 政務活動費をチェックできる立場でありながらなぜ賛同者になられたのか。  
**答** 確認できる立場であり、不正のないのは分かっているが、住民に広く分かってもらえると思いい賛成した。  
**問** すでに取扱いマニュアル案が出来ており、全ての議員の関心事であることから議長を除く11名で特別委員会は設置すべきではないのか。

**答** 初めは全員でと思ったが、全員でやると意見が飛び交い過ぎて収拾がつかなくなると言われ6名にした。  
**問** それでは委員を選ばず選定基準が難しいと思うが。  
**答** 議員の中の問題なので、議員の中で精選した方6名を選ばれたらいいと思う。委員数は訂正してもいいが、出来ないという事なので少数精鋭で議長に選んでほしい。  
**問** 河南町では月額1万5千円である。廃止にするという意見なら賛成するが、提出者は、政務活動費の必要性があると思っているのか。  
**答** 廃止という考えがあ

れば委員会の中で話し合えばよい。  
**問** 説明が不十分であったが、大阪府下で初めて議会の広報紙で各会派の政務活動費の使途に関する情報を掲載した。  
**答** 使途基準7項目だけでは本当に十分かどうか分からないのでは。もう少し分かり易いように目指せるのでは。  
**問** すでに議長のマニュアル案が出て、皆で話し合いますよと言われているので、議員提出議案を提出しなくてもよかったのではないのか。  
**答** 全員協議会という場合は傍聴者が入れない、議事録も手に取れないので委員会という形が適切ではないのか。  
**問** 7月の月例監査で監査委員が適正に処理されていると明言している。事務的な使途について整理する必要があるとの意見であった。本議会では1円から公開している。

まずはマニュアル案等を作り事務的な整理をするのが先で、特別委員会で精査するのは、順番が逆ではないのか。  
**答** 順番が逆だとは思わない。

南河内広域公平委員会の共同設置に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

**問** 法の題名に「管理」という文言が入った趣旨は。  
**答** 鳥獣の生息数を適正水準に減少させる、またはその生息地を適正な範囲に縮小する等、管理面においての規定を追加したため。  
**問** 農作物を荒らすイノシシ、アライグマ等鳥獣の狩猟や数を管理するのは難しいのでは。  
**答** 大阪府が府下全体のバランスを考え調整した

河南町総合保健福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**問** ふれあいの湯の料金について団体から要望が出ているが。  
**答** 風呂の存続と利用料の一部値上げをセットで説明し、理解を得た。  
**問** 6市町村の施設の共同利用を進めているが、近隣の風呂の料金100円に合わせないのか。  
**答** 震災以降の燃料の高騰など、運営経費の増加により200円とする。

**問** 回数券等、割引的な考えはないのか。

**答** 前向きに、次期指定管理者と協議し検討する。

**問** 大阪の公衆浴場の料金と比較すれば。

**答** 大阪の公衆浴場の入浴料と比較すれば安い。

**河南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について**

**美しい河南町基本条例の制定について**

**問** 今後、条例に不足の部分があった場合、検討は。

**答** 社会、経済、環境状況などの変化により検討する必要がある。

**美しい河南町環境条例の制定について**

**問** 民間の事業者が法令等に即した適切な埋め立てをしなかった場合は、この条例で対応できるのか。

**答** 別の法令等で対応し、環境条例は関わらない。

**問** 飼犬に関して規定されているが、猫などのペットに対してはどうか。

**答** 動物に関する専門職がないため、猫に係る施策の実施は難しく、今回の規定は控えた。

**問** 13条の吸い殻、空き缶等とは。

**答** ペットボトルやプラスチック等のビニールも含む。

**問** 「立ち入り調査をする職員」とは。専門的な資格を持っているのか。

**答** 知識を持った担当の河南町職員が行う。

**問** 大阪府からの権限移譲により広域で環境事務を行っているが、連携は。

**答** 本町で対応しきれない部分については広域の職員に相談しながら判断する。

**平成26年度河南町一般会計補正予算(第6号)**

**問** 子育て世帯臨時給付金は申請しなければもらえない制度であり、周知

徹底はどうするのか。

**答** 広報で周知する。

**問** 広報紙だけでは見逃す場合があり、放送での徹底は。

**答** 防災無線を使うことは検討する。

**問** 体育施設費の内、電気料で140万円補正されているがその要因は。

**答** 野球場、テニスコート、ぶくホール、総合体育館などの利用が増えたため。

**問** 英語子育て事業、3年間で668万円計上されているが、どのような成果を目指しているのか。

**答** 幼稚園・保育園に月2回、外国人を派遣して英語に親しみながら興味を育てていく。

**問** 選挙のポスター掲示板の質が変わっていた、その理由は。

**答** 急ぎよ選挙が決まり、従来の材料が入らないという事で材質が変わった。

**問** 福祉センターの指定

管理料は、休館されているやまなみホールの分は相殺されているのか。

**答** そのようになっていく。

**平成26年度河南町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)**

**平成26年度河南町介護保険特別会計補正予算(第3号)**

**問** システム変更により150万円計上されている。国が定めた制度なのになぜ市町村に負担かけるのか。

**答** 補助金は二分の一になっている。大阪府に対して国に補助金の要望を行っている。

**問** システム変更は何のため変更するのか。変更しなかった場合の支障は。

**答** 介護報酬の見直しと一定所得者の利用者負担の見直し。低所得者に対する保険料の軽減などの

改正のための変更。本町と国保連合会との連携する必要があり、システム変更せざるを得ない。

**河南町農村環境改善センター等改修工事の工事請負変更契約について**

**問** 初歩的ミスで423万円の追加工事、工期は一月遅れることになる。

**答** 当初設計で表記すべきもので、抜けていたことが要因。無償で図面等の修正をしている。修正された工事が完了していないので状況を注視していく。

**問** 今後同じようなミスが起こらないように対策をとるべき。

**答** 設計者と関係機関との事前協議の詰め、甘さから生じたのが原因で、事前協議の内容確認や設計事務所に対する評価等も考えていく。



ふれあいの湯

**河南町総合保健福祉センター指定管理者の指定について**

**問** コナミより想定を上回る収入があった時や収入実績から物販原価を差し引いた利益が対象基準を超過した場合、その超過額の40%を町に還元との提案があったが実現性は。

**答** 27年4月より町外の会費を400円引き上げ、年収試算で約220万円増える。これで還元の実現性はあると判断している。

73

**問** 来年度でその実績がなければどう対応するのか。

**答** 5年間の計画書が出ているが、年次的に対象金額について協議することとで合意している。

**問** 町内の雇用に半分は寄与していない状況であり、町内の雇用確保は。

**答** 引き続き町内の雇用促進につなげていくよう伝える。

**問** 小・中学生やその下の層にあてたメニューが少ない。会員獲得に必要な新たな提案は。

**答** スイミング・キッズダンスを展開しているが単発に終わっている。魅力あるメニューを展開し、会員を増やすよう管理者に伝える。

**町営土地改良事業（農地災害復旧事業）の施行について**

質疑なし



河南町議会  
第2回臨時会

議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**答** 国では大臣等、特別職も改定されたので、それに準じた。

**町長及び副町長の給料、手当及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

**問** 条例で町長の部分を省かない理由は。

**答** 報酬審議会にて検討する際、細部が異なれば他市町村との比較が困難になる。

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 条例の改正により、現給は保障されるのか。

**答** 平成30年3月までの3年間は保障する。

**問** 退職金を含む生涯給与の引き下げの影響を受ける場合の緩和策は。

**答** 退職手当は退職前5年間の職責に応じて加算される調整額が30%ほど引き上げられるため、給料表引き下げに伴う影響

**問** 人事院勧告は議員、町長、副町長も影響する

**答** 一般職及び特別職に準拠した。

**問** 消費税や医療費負担、物価の上昇で国民への負担増が懸念されている中、なぜこの条例を上程したのか。

**答** 一般職及び特別職に準拠した。

のか。

**問** 平成30年3月まで現給が保障されるが、地域手当はその間3%上乗せになるのか。

**答** 地域手当は3%から6%に改正となっているが、規則で27年、28年、29年で1%ずつ引き上げしていく改正を考えている。

**問** 給料表の2%削減分は現給が保障され、地域手当は上げていくので、給与は下がらず地域手当があがるのか。

**答** 現給保障+地域手当が27年度で4%となるので、上がる。

**問** 町が独自に6%に決めたのか。

**答** 国の指定にしたがった結果である。

**問** 町長、副町長、議員、職員の報酬／給与は上がるが、臨時職員の給与と定はないのか。

**答** 民間給与が上がると、最低賃金も上がっているので、準じて臨時職員の給与アップも検討する。

**問** 人事院勧告は議員、町長、副町長も影響する

**答** 一般職及び特別職に準拠した。

**問** 消費税や医療費負担、物価の上昇で国民への負担増が懸念されている中、なぜこの条例を上程したのか。

**答** 一般職及び特別職に準拠した。

職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

質疑なし

平成26年度河南町一般会計補正予算(第4号)

**問** 農村環境改善センターの改修工事に伴う増額がある。工事変更の責任はどこにあるのか。

**答** コンサルが法的知識を有していると判断していた。

**問** 担当課と契約検査室の連携はどうなっているのか。

**答** 実施設計にあたり、契約検査室で合議し、契約検査室の執行で工事の発注をしている。

**問** 工事が約1ヶ月遅延することを住民にどのように説明するのか。

**答** 総合保健福祉センターで掲示案内、広報、ホームページで周知する。

平成26年度河南町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

質疑なし

平成26年度河南町介護保険特別会計補正予算(第2号)

質疑なし

平成26年度河南町下水道事業特別会計補正予算(第2号)

質疑なし

平成26年度河南町水道事業会計補正予算(第2号)

質疑なし

平成26年度河南町一般会計補正予算(第5号)

質疑なし

**問** 以前、町では投票所が5力所、掲示板が39力所に減少したが高齢者が投票に行きやすいような策は。

**答** 選挙期日を周知する啓発活動、期日前投票の

強化を含めて選挙管理委員会等で検討してもらう。

**問** 備品購入費で何を購入するのか。

**答** 投票所で利用している机が痛んでいるので、購入する。

**問** 委託料の49万2千円で何を委託するのか。

**答** 町内に設置する掲示板の費用である。

**問** 衆議院解散に伴う費用のほとんどが人件費ということか。

**答** 報酬、職員手当、賃金、報償費等、人件費が半分以上である。



**選挙管理委員の選挙及び補充員の選挙**

任期満了に伴う選挙管理委員及び補充員の選挙を行いました。

**選挙管理委員**

- ・ 橋本安富さん(大宝1丁目)
- ・ 村元義治さん(山城)
- ・ 今泉憲一さん(加納)
- ・ 木畑章一さん(さくら坂3丁目)

**選挙管理委員補充員**

- ・ 奥野善吉さん(馬谷)
- ・ 武本多弘さん(大宝2丁目)
- ・ 北端泰典さん(大ケ塚)
- ・ 仲林靖芳さん(鈴美台1丁目)

各議員の審議結果 (○=賛成 ●=反対 / =審議不参加 —=議長)

■平成 26 年第 4 回定例会

件名	審議結果	浅岡正広	佐々木希絵	村元保男	中川博	田中慶一	野村守	廣谷武	福田太郎	力武清	浅岡幸晴	杉本孝	小山彬夫
政務活動費に関する特別委員会の設置について	原案否決	○	○	—	●	●	●	○	●	●	●	●	●
南河内広域公平委員会の共同設置に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
河南町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
河南町総合保健福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○
河南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
美しい河南町基本条例の制定について	原案可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
美しい河南町環境条例の制定について	原案可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度河南町一般会計補正予算(第6号)	原案可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度河南町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度河南町介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	—	○	○	○	○	●	●	○	○	○
河南町農村環境改善センター等改修工事の工事請負変更契約について	原案可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	/	/
河南町総合保健福祉センター指定管理者の指定について	原案可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町営土地改良事業(農地災害復旧事業)の施行について	原案可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■平成 26 年第 2 回臨時会

件名	審議結果	浅岡正広	佐々木希絵	村元保男	中川博	田中慶一	野村守	廣谷武	福田太郎	力武清	浅岡幸晴	杉本孝	小山彬夫
議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	—	○	○	○	○	●	○	○	○	○
町長及び副町長の給料、手当及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	—	○	○	○	○	●	○	○	○	○
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度河南町一般会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	/	/
平成26年度河南町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	/	○
平成26年度河南町介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	/	○
平成26年度河南町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	/	○
平成26年度河南町水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	/	○
平成26年度河南町一般会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	/	○

審議結果など

議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について(第2回臨時会)  
 《反対討論》 《賛成討論》

## 【福田議員】

消費税8%や国民への医療費の負担増や次期介護保険料への負担増も懸念される中で、今後、我が町においても町住民の皆様及び特に低所得者世帯の方々には、増税でますます苦しい生活状況が強いられている社会情勢のもとでは、今後とも我々議員自ら、さらなる議員報酬の削減の取り組みをしなければならないと考えている。

## 【杉本議員】

人事院勧告に基づき、一般職の国家公務員のボーナスが引き上げられ、内閣総理大臣を含め各大臣のボーナスが引き上げられた。また、国会議員のボーナスも同様に引き上げられた。本町におきましても、情勢適応の原則及び均衡の原則の規定により、一般職の改定に伴い、特別職及び議員の期末手当に関しても同様の引き上げを行うべきであると考えている。

町長及び副町長の給料、手当及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について(第2回臨時会)  
 《反対討論》 《賛成討論》

## 【福田議員】

我が町でも若い世代の納税者が減少する中、今後さらに年金暮らしの高齢者世帯が増え、納税者を鑑みて、町長も選挙で選ばれた者とし、町長が自らの意思と身を切る考えで、町長の部分を条例の条文を外され、再度見直しをしていただくことを強く願う。

## 【小山議員】

国では、人事院勧告に基づき、一般職の国家公務員のボーナスが引き上げられ、これを受け、特別職である内閣総理大臣を含め、各大臣のボーナスも引き上げられた。本町においても、情勢適応の原則及び均衡の原則の規定により、一般職の改定に伴い、特別職に関しても同様の引き上げを行うべきと考える。

河南町総合保健福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について(第4回定例会)  
 《反対討論》 《賛成討論》

## 【力武議員】

ふれあいの湯は、一旦廃止の結論が出ていたものを多くの住民の方の存続を求める要望に応じて存続が決まり、移転されることになった。福祉の観点で憩いの場、交流の場として新装開館が待ち望まれている。一方、利用料金でいえば、利用者のうち圧倒的な高齢者の経済的支えである年金が毎年のように減額され、生活を圧迫させている。そうしたもとで、利用料の改定も100円が要望されていたが、本提案では従前どおりの200円であり、肩透かしを食らった感は否めない。

## 【浅岡幸晴議員】

住民の強い要望を踏まえ、農村環境改善センター1階に移し、再スタートするわけであるが、改修に一定経費がかさんでいる中、一度決定した利用料を値下げせよとの議論では、現時点においては、これまでの議論を逆戻りさせるものだと考える。新たな浴場の設置を契機として、農村環境改善センターのさらなる利用促進に力を注がれまして、住民の健康増進、福祉向上の拠点施設として、また住民の皆さんが気軽に立ち寄れる憩いの場として運営をいただくことを期待する。

平成26年度河南町介護保険特別会計補正予算(第3号)(第4回定例会)  
 《反対討論》 《賛成討論》

## 【力武議員】

介護保険制度は、3年ごとに改定され、改定されるたびに保険料は高くなる一方、年金が主たる収入で、年金暮らしの人は年金を頼りにされているけれども、その世帯に対する負担は大きく影響している。そうしたもとで、次期の改定を前に、先取りした今回の提案、プログラム変更で補正予算を計上することはサービス低下につながる制度を先取りしたもので到底認めるわけにはいかない。

## 【野村議員】

持続可能な社会保障制度の確立を図るための措置として、医療や介護が必要な状態となっても、できる限り住みなれた地域で安心して生活できるよう、地域包括ケアシステムの構築と費用負担の公平化により、地域における医療及び介護の総合的な確保を推進することを趣旨とし、システム改修を行う。改修費用等は、保険者負担が過重とならないよう国庫補助の充実等を国に対して強く要望することを申し添える。



佐々木 希絵議員

## 防災会議開催予定は

### 設置に向けて協議する

**問** 災害時、区長会や自主防災組織、消防団、社協などの各種グループが円滑な連携をとれるよう、防災会議を開く予定は。

**答** 設置に向けて打ち合わせ協議をする。

**問** 台風シーズン前には会議を開くべきと考えているが、開催時期は。

**答** 少し時間がかかる。先頃、会派で視察に伺った三重県紀宝町では災害タイムラインが有効

に利用されている。町で導入するめどは。

**答** 国や府でタイムラインを活用した土砂災害警戒避難体制を強化するため、タイムライン作成の手引きを作る予定である。完成次第、参考にしたい。

### 子どもの貧困対策は

**問** 子どもの貧困対策について、町の認識は。

**答** 貧困は子どもたちの生活や成長にさまざまな影響を及ぼすが、子どもに責任はない。生まれ育った環境によって将来が左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図る対策は重要である。

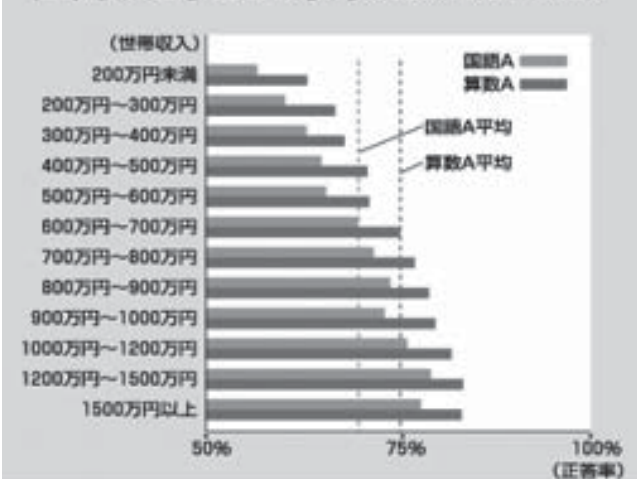
**問** 河南町ではどのような施策が策定されているのか。

**答** 就学に必要な費用として、学用品費、修学旅行費、給食費などの援助を、進路問題では奨学金などの相談事業、自己負担の軽減を図るため子ども医療費助成の拡充などを行っている。

**問** 就学援助の受給率は。

**答** 小学校は807人中80人で9.9%、うち新入生は9人。中学校では445人中61人で13.7%、うち新入生は26人である。  
**問** 中学生の就学援助費の額は。  
**答** 中学生は学用品費・通学用品費は1年生が2

世帯収入と子どもの学力(対象/小学6年生)



**問** ボランティアによる無料塾を運営している自治体もある。中学生を対象に検討しては。

**答** いい形で実現できればという気持ちはあるが、ボランティアのコーディネートが課題である。

**問** 就学援助の対象を単純化して一覧表にすれば、制度が利用しやすくなるのでは。

**答** 認定基準額の早見表を案内に添付できるように検討する。



田中 慶一 議員

**問** 老人憩いの家づくりを  
**答** 元気な老人会の支援活用



神山集会所

**問** 平成25年6月議会で「家庭でぶらぶらされている高齢者の憩いの場（井戸端会議のような場）気軽に寄り集まれる場を各地区ごとに2,3ヶ所作るべきであり、町全体で取り組む考えはどうか。」と質問した。町側は「地域の身近な場所であればどこでもよい。居場所づくりの仕組みづくりを各種団体と話し合いの方策を検討する。」と回答があったが、その後の進捗

**答** は。区長会で高齢者交流の場の取組みの必要性を説明した。又各種団体と地域ケア会議を開催した。地域のことは地域で見守るといふ考えのもと、元気な高齢者の支援も出来るよう引き続き取り組む。  
**問** 老人による老人のためのストレス解消のための憩いの場づくりのきっかけを作っていくための町側の方策は。  
**答** 地域ケア会議を開催

する。そこで方策を構築していく。各地区の元気な老人会の活動支援のきっかけ作りを引き続き行う。  
**町営バスの運行方法**  
**問** 車の運転が出来ない高齢者がこれから増加する。現在の定期巡回バス方式は利便性が悪く、余り利用されていない現状に対し、町として改善策を検討されているが、平成26年6月議会で私はオンデマンドバス（予約タクシー型バス）の導入を提案したがその後の町の検討結果はどうか。  
**答** 南北循環バス方式にこだわる理由は何か。フルオンデマンドバスの導入に何の支障があるのか。  
**問** 南北循環バスは町内を支線路線として結ぶもので、運行経費や需要量を考慮して町内を南北に結ぶ路線がないことと公共施設や商業施設等生活に関連する施設への移動

手段に乏しいことなどから提案されている。デマンド交通については予約という仕組みが利用者になじむか考慮し検討会議で検討している。  
**問** 世の趨勢として循環バス方式はだんだん無くなって、デマンド型に他の市町村では変ってきている。どうして循環バス方式にこだわるのか疑問に思う。もう一回スターラインに戻って十分検討されたい。



やまなみバス

**答** 検討会議で両方の案をまだ検討中。もっと交通問題を住民のテーマとして高めていかねばならない。住民意識をもっと高めていかねばならないのにそこまで至っていない状況にある。  
**感想**  
町はやまなみバスの改善から出発しているのでなかなか循環バスの考えから抜け出せないように思える。頭の切り換えを期待する。





野村 守 議員

## 梅川工事の進捗状況

答 平成28年8月に完了予定

問 梅川改修工事の進捗状況は。

答 現在、東山の中之橋から下流の左右岸、左岸と右岸の仮設橋、それと右岸の橋梁下部工の工事の発注手続き中。

問 工事の期間は。

答 平成27年2月から9月までの予定。

問 その後の工事予定は。

答 平成27年11月からは、中之橋上流の左岸護岸および左岸の橋梁下部工と

橋梁上部工を予定しており概ね平成28年8月までかかる予定。この頃には仮設橋も撤去され、新しい中之橋を通行出来る見込み。また、平成28年11月頃から平成29年6月頃にかけて残っている中之橋上流の右岸と中之橋の左右岸の取り付け護岸の工事を予定しており、当初計画の大宝橋までの工事が完了する予定。

問 仮設橋の場所は。

答 現在の中之橋のすぐ下流側に設置予定。

問 大宝橋上流の整備計画は。

答 大阪府全体の河川整備について、大阪府河川整備審議会や国との間で検討しており、個別の河

川についての計画の有無や整備区間などは結論が出ていない。河南町としては、大宝橋から上流の寺田橋に向けて河川改修の延伸を町村長会、町村議長会あるいは政党などを通じ大阪府に要望している。また、危険水位を把握する為、大宝橋などに水位計の設置もあわせて要望している。

問 中之橋架け替えにかかる費用は。

答 全体額で約2億円。河南町の負担額は1億1,400万円。大阪府の負担額は8,600万円。

### 山間部の投票所

問 昨年の衆議院選挙に

おいて、青崩地区で12月8日、午後1時から午後4時の間、試行的に期日前投票所を設置されました。その評価は。

答 青崩地区の有権者数83人中、投票された人は40人。14日の投票日を含め、投票された人が63人となり青崩地区の投票率は75・9%と、前回の衆議院選挙の58・7%から17・2%増加しており、今回の結果を選挙管理委員会会で検証し、今後の対応を考える。

問 平成27年12月19日

現選挙管理委員会の委員が任期満了となり、12月議会で新委員が当選した。新委員の考えもあると思うが、例えば「山間部の平石地区、持尾地区において、青崩の評価を参考に期日前投票所を試行的に開設しては」との意見があればどの様な対応をするのか。

答 現在の形態をもとに効率よく、投票率向上について、当然、選挙管理委員会が審議して頂く。





廣谷 武議員

## 問 農地・農業品利用で発展

### 答 岩橋山山頂の眺望の確保



長坂バス停付近

**問** 河南町の農業の現状は。

**答** 経営耕地面積は231ヘクタール、農家数は772戸、このうち自給農家が392戸、販売農家が380戸、農業従事者数は1,030人、これは1反以上の農家、植木農家の戸数188戸、植木の作付面積は30.6ヘクタール。

**問** 農業に対しての支援は。

**答** 芹生谷・馬谷・中地

区農空間保全活性化協議会への支援。青崩・持尾地区で遊休農地発生防止

策への交付金、ムクドリ対策ネット、イノシシよけ電柵等に対する半額助成、捕獲用のおりの貸し出し、猟友会、イノシシ捕獲隊への助成。

#### 市街化調整区域の土地利用

**問** 幹線道路での建築物の立地はできないのか。

**答** 地域密着型の介護施設

設や障がい福祉施設、自動車修理工場やガソリンスタンド、ドライブレステランやコンビニエンスストア、有料老人ホーム

や老人保健施設など建築できる。柏駒線の長坂バス停から大宝交差点の間は小売店舗や事務所、倉庫、一般食店が建築できる。

#### 農業と観光の相乗効果

**問** 本町の観光資源に訪ねて来られた方々が道の駅や幹線道路沿道に建築された施設で買い物をして帰れるという、農家と観光の相乗効果がまちの発展に必要ではないか。

**答** 本町の観光資源は多くはない。人を呼び込むために新たな観光資源の発掘や創造が必要である。

そこで、岩橋山とその周辺の久米の岩橋や胎内くぐり、鉾立て岩などの名石めぐりを考えている。丸太階段による登山道の



岩橋山

整備や岩橋山山頂付近の眺望の確保、ルート案内板の設置など検討する。



福田 太郎議員

## 問 次期行財政改革について

答 マニフェストで訴えた

**問** 第四次総合計画（11ヶ年）で、既に実施計画2期目に入り、前回のように町行財政改革プランで町財源数値と効果額をも示した、新しい行財政改革プランを以って第四

次総合計画の実施計画に臨むべきではないか、その点を聞く。

**答** 前任者の行政を私なりにチェックして、2回目・3回目は、行政改革プランで訴えたのではな

く、私はマニフェストで訴えた。

### 河南町消防本部委託と河南分署について

**問** 富田林市へ河南町消防本部の消防・救急業務の委託において、27年度から富田林市消防本部に配備されている「40メートル級はしご車」の購入費1億4,970万9,000円及び車検費、年維持費55万8,276円や7年に1度オーバーホール費用3,000万円である。また、「15メートル級はしご車」の購入費8,242万5,000円及び車検費、年維持費23万400円や7年に1度オーバーホール費用250

万円と大変高額なはしご車の購入費と維持管理費であり、河南町へも27年度から2台の「はしご車」への年間の維持管理費全て及び消防はしご車の入れかえ時期について、富田林市が河南町に負担を求めてくるのか。

**答** 消防のはしご車などの富田林消防の管轄区域全域をカバーする車両及び施設整備については、共用する消防施設整備に係る経費として人口割に負担するとなっている。

**問** 河南町消防本部を委託した後、10月1日から12月12日までの間、河南分署の高規格救急車が富田林市・太子町・千早赤阪村の各住民の救急患者

の搬送は、各市・町・村で何件あったのか。

**答** 富田林市へ59件・太子町へ10件・千早赤阪村へ1件、合計70件。

**問** 河南町の住民の救急患者の命は1分1秒にかかわる問題であり、高規格救急車の到着時間であり、以前の河南町消防本部の際の高規格救急車の出勤において、河南町全域の町住民の救急患者宅のもとへの到着時間は平

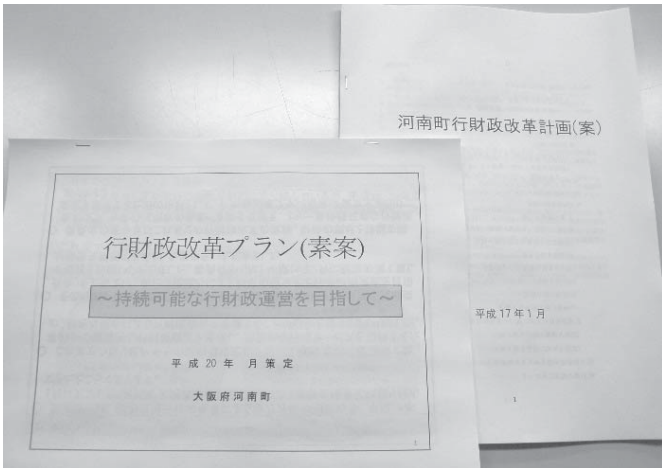
均5分から7分で到着しており、そこで富田林市・太子町・千早赤阪村の高規格救急車が、河南町全域の町住民の救急患者宅へ何分かって到着しているのか。

**答** 平均到着時間は、富田林市消防署で12分・太子分署で10分・千早赤阪分署で13分という結果が出ている。

※詳細は議会議事録にて



富田林市消防署河南分署



町行財改革プラン

これが聞きたいのねん



力武 清議員

## 問 梅川の改修計画延伸を

### 答 府の計画で具体化はまだ

**問** 28年度までは大宝橋まで拡幅工事される事になっていますが、28年度以降の計画は。

**答** 府の計画で検討されているが個別河川の具体化はまだ決まっていない。

**問** 寺田橋までの延伸を進めるべき。

**答** 大宝橋上流について府に要望している。

**問** 拡幅工事までは時間がかかるので、堆積した土砂の浚せつ工事はできないのか。

**答** その都度、府へ依頼し対応を願っている。

**問** 田久橋と寺田橋の間の橋が危険である。

**答** 沈下橋のような形になり、傷も激しいので、27年1月から修繕工事に着工する予定。

#### 介護予防について

**問** 法律の改定によって地域包括支援センターの役割、影響は。

**答** 生活圏域でケアを有

効に機能させ、ネットワークを構築することが重要と考える。

**問** 利用者に対する影響、要支援者へのサービスはどうなるのか。

**答** 近隣の動向を調査し検討している。

**問** 介護予防・生活支援への取り組みは。

**答** 対象者の心身の状況や生活環境等を勘案して包括的な支援を行っている。

**問** シニアエクササイズの目的と成果は。

**答** 健康維持と介護予防の一環として取り組んで、自主グループを立ち上げ、継続して取り組んでもらっている。

#### 避難所のあり方

**問** 避難勧告など3回今年は出された。良かった点、今後改善すべき点など教訓は。

**答** 区長をはじめ、自主防災組織の皆さんにお世



点在する竹林

話になった。地域ぐるみで活動してもらえる体制ができつつあるということとは良かったと思っています。

**問** 避難所には車椅子を使用する方もおられたので、今後は障がい者に対する避難所の対応の検討をすべきと考える。

**答** 白木小の避難所としてのあり方は、急な坂やトイレ、体育館など不便との指摘がある。

**答** 体育館は耐震改修を施し安全性は確保されて

#### まちおこし

**問** 自然環境、自然エネルギー、バイオマスなどを意識したまちおこしは新たな雇用の創出につながる効果がある。見解は。

**答** 地方地方に合ったまちづくり、まちおこしが大切で、今後も再生エネルギーを研究していきたい。



小山 彬夫議員

## 職員研修が公表されたが

### 優れた行政サービス提供

**問** 職員の行政能力向上の為の研修内容とは。

**答** 新規採用職員研修、新任課長係長研修、幹部職員研修、各専門分野に伴う研修、職員全員を対象としたメンタル研修等

多岐にわたっている。

**問** 意欲ある職員を育成するための予算措置はどのくらいしているのか。

**答** 平成25年の実績決算額は管内、管外旅費で55万7,110円。研修参

加に伴う負担金で81万1,779円。職員の能力向上、人材育成の観点から積極的に研修に参加している。

**問** 住民福祉の向上、安全安心なまちづくりの推進を計る上で、防災の専門官、法務の資格者、土木技術の専門官等の有資格者の職員が今後必要となるが。

**答** 専門的な職員は職種が限定されるため、あまり多く採用することは組織が硬直化すると考える。

### 新設ふれあいの湯について

**問** 改善センター1階の浴場への進入路が3ヶ所となるが安全対策は。ま

た屋外の貯湯タンクの安全性は。新設の浴室に階段がつくことで狭小になったが、手すり付のステップ化を目指すべきではなかったのか。

**答** 以前から足元が滑らないよう転倒防止マットを敷き対策済。貯湯タンクはステンレス製で本体はロックウールで保護され、その上からガルバリウム鋼板を設置し安全対策を取っている。手すり付のスロープ化も検討したが工法に無理が生じたため手すり付の階段を設置した。

**問** 以前のやまなみの湯は利用者の8割が高齢者でしかも固定化が問題視された。新設の風呂には

約8,000万円の税金が投入され、税の使い方の中立性、公平性に欠けるとの声があがっている。若者、子ども達にも利用しやすい風呂となるのか。

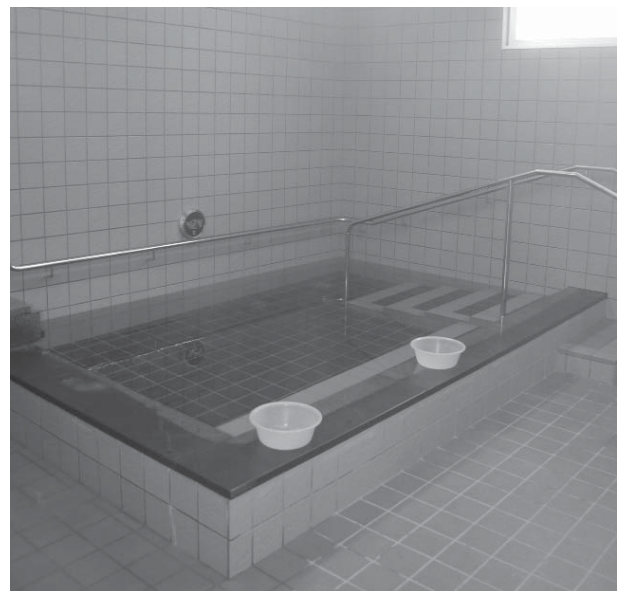
**答** 近隣の市町村には若者や子ども達に人気のあるスロープ銭湯がある。本町の場合は一般の銭湯であるため、今後若い方にも利用していただけるよう工夫して指定管理に申し添えていく。

**問** 営業時間についても平日午前11時から午後4

時30分ではあまりにも早く、利用したくとも利用しにくい時間設定である。せめて土・日曜日並の午前10時から午後7時まで利用できるよう営業時間の見直しが必要では。

**答** 営業時間については従前どおりの時間帯で運営していく。利用者の人数や時間帯等、課題があればその時点で検討していく。

○その他の質問として生活保護の現状は



ふれあいの湯



浅岡 正広議員

## 問 道徳教育の格上げ準備は

答 引続き推進して行く



現在活用中の「わたしたちの道徳」

**問** 現在、国（文科省）から教育再生への一環として小中学校の道徳教育を現行の教科外の活動から特別の教科に格上げし、いじめ・自殺問題をはじめ生命を大切にすること、善悪の判断などの規範意識などを学校の教育活動全体を通じて行う取り組みが打ち出されている。

**答** 本町の小中学校での道徳教育は、これまで国（文科省）や大阪府作成の読み物資料等を活用し、各学年の発達段階に合わせた『勇気・礼儀・生命・尊重・家族愛』などの道徳的価値について考えを深めてきた。また、幼児教育の場では、生活や遊びの場で具体的な活動を通して道徳性の芽生えを

培っている。今後も、与えられた教材を適正に使用し、活用方法や道徳教育の推進について、国・府からの伝達内容を随時学校に指導して行きたいと考える。

**要望** 教育現場から起こる事件・事故が多発する中、なぜ道徳教育が『教科外の活動』から『特別の教科』に格上げされようとしているのか。それらの意味を教育現場は勿論、家庭・地域の方々にも理解して頂き、今後の対応に生かせるよう要望する。

○英語子育て支援事業  
関連質問

### 町内道路の安全配慮大丈夫？

**問** 主に歩道や建物の誘導などに目が不自由な人のために設置されている黄色の点字ブロック、いわゆる『視覚障がい者誘導ブロック』であるが、本庁舎入口部分の点字ブ



河南町役場庁舎前点字ブロック

ロックのガタつきはここ何年も修復されない状態になっている。これらに対する配慮はどのように考えているのか、また他にも同等の箇所を把握しているのか問う。

**答** 現在、点字ブロックの設置は、道路関係では役場前の町道（歩道部分）・さくら坂線の交差点・一須賀交差点の一部となっている。また本庁舎を含む公共施設の大半に設置されている。これらは随時点検調査を行っ

**要望** 本庁舎入口についてはあまりにも放置し過ぎて考える。今後その都度整備が可能とのこと、敏速な対応を要望する。他県では盲導犬が刺されたり、全盲の女子生徒が点字ブロック上を走行中、傷つけられる事件も起こっている。今一度、体の不自由な方の立場を十分考慮し、事業を進めて頂くよう強く要望する。



中川 博議員

## 問 地域興し協力隊の認識は

### 答 制度利用の可能性を検討

**問** 都市部の若者らを過疎地の自治体が募集し、地域活動に従事してもらう「地域おこし協力隊」制度が全国に広がっている。大阪府では、千早赤阪村が初めて過疎地域に指定

された。河南町でも早急な対策が必要ではないかと思う。そこでこの「地域おこし協力隊」についての認識は。

**答** 地域おこし協力隊は、都市住民などが過疎地域

において地域おこしや住民の生活支援などの地域協力活動に従事し、その定住・定着を図る地域活性化に貢献する制度である。受け入れ側の市町村

に3年間の特別交付税による財政支援が受けられる。本町においてもこのような制度の利用が可能か検討に値するかと考えている。

**要望** 隊員一人当たり400万円が500万円に増額、自治体1団体あたり2000万円の財政支援がある大変良い制度である。制度の条件緩和等積極的に働きかけするよう要望する。

隊員一人当たり400万円が500万円に増額、自治体1団体あたり2000万円の財政支援がある大変良い制度である。制度の条件緩和等積極的に働きかけするよう要望する。

## 問 少子化対策について

**問** 河南町の最近の出生数と合計特殊出生率はどうなっているのか。また具体的な少子化対策とその効果はどうなっているのか。

**答** 出生数は、平成22年度101人、平成23年度92人、平成24年度79人、平成25年度71人である。合計特殊出生率は平成22年度1.16、平成23年度1.03、平成24年度1.03、平成25年度0.85である。次に少子化対策が、医療費助成を中学卒業まで拡充、各種ワクチン助成、妊婦健診助成、「おやこ園」、「ポケットルー

ム」の設置、心理相談員の配置、石川保育園の開設により待機児童の解消等、今後も産み育てやすい環境整備を進める。

**問** 本年6月発表の国の合計特殊出生率は1.43%である。それを受け安倍総理は、7月19日に少子化対策において特に第3子以降に特化するやりを積極的に検討すべき考えを示した。第3子以降に特化するやり方は即効性が高いとされている。

**答** 総合的に取り組まなければならない問題は少し時間がかかる。議員の言われた早く・スピード感をもって本町の0.85に対応するためには、その事に特化して対応する部署があってもいいと考えている。

やこ園」、「ポケットルー



ム」の設置、心理相談員の配置、石川保育園の開設により待機児童の解消等、今後も産み育てやすい環境整備を進める。

**問** 本年6月発表の国の合計特殊出生率は1.43%である。それを受け安倍総理は、7月19日に少子化対策において特に第3子以降に特化するやりを積極的に検討すべき考えを示した。第3子以降に特化するやり方は即効性が高いとされている。

**答** 総合的に取り組まなければならない問題は少し時間がかかる。議員の言われた早く・スピード感をもって本町の0.85に対応するためには、その事に特化して対応する部署があってもいいと考えている。

やこ園」、「ポケットルー

シリーズ



②②

—その道の達人から学ぶ—

# 悠久の歴史を詠み 吟じる詩の調べ

鈴木永山さん (大宝4丁目)



今回は、公益社団法人関西吟詩文化協会総本部相談役 永山会長 鈴木永山さんをご紹介します。

鈴木永山さんの「永山」は雅号と言って詩吟界の芸名で、詩吟3段を取得後に名乗ることができるのとことです。

詩吟に興味をもったのは28歳のとき、勤務先の詩吟をしている人と健康法（詩吟は丹田呼吸法を用い、丹田に氣を溜めて声を出すこと）のひとつとしてクラブ活動から始めたとのこと。

詩吟の練習は寒稽古が一番で、寒い日に河川敷や山に行き、声を潰さず、きれいな声を残しながらの大声を出す練習をしていたそうです。また、大きな声を出したり、大声で笑ったりすることで気分もスッキリして二重の効果があったと笑っておられました。

日本で作られた漢詩に川

中島の合戦や明治維新の志士を題材にした作品があり、歴史の勉強をすることで、感情も入れやすく詠いやすいそうです。

詩吟には初段から10段までの段位があり（鈴木さんは10段）、段位取得には吟試験で優秀な成績を修め昇段していきます。昇段するためには、日頃からの練習と競吟大会に出場し経験を積んでいくことが大事。

今後の活動としては、いかに楽しみながら詩吟と向かい合うことと、詩吟をとおして知り合った者同士で詩吟以外の新たなクラブ活動をする笑顔ではなされています。



## 市町村トップセミナー参加

テーマ 「激動する日本政治の展望」  
講師 時事通信社解説委員 田崎 史郎 氏  
場所 KKR ホテル大阪  
参加者 村元議長



11月13日

## 大奈ミックコンサート2014開催



## リベラルの会 会派視察研修

災害タイムラインの先進自治体である三重県紀宝町を視察しました。実際の災害事例を教訓に多方面の団体から協力を得ている取組みを担当者から説明を受け、河南町の防災対策に活かすべく熱心な質疑応答を行いました。

## その道の達人をご紹介します

議会だよりは、河南町にお住まい、または、在勤の方で、生産や加工、文化・芸能等において、優れた知識や技能を有する人を「シリーズ 人」でご紹介しています。

## 定例会の日程

平成27年第1回定例会を、次の日程（予定）で開催します。  
町政を身近に知るよい機会ですので、ぜひ傍聴にお越しください。  
3月4日 開 会  
3月16日 一般質問  
3月17日 閉 会  
※日程は変更になる場合があります。（確認は議会事務局まで）